

## 受章おめでとうございます

### 危険物従事者 叙勲



瑞宝双光章  
【消防業務】

菊池和彦さん  
(鬼柳町・69歳)

昭和36年北上市消防署入り。消防本部警防課長兼指令室長、総務課長を経て、平成9年西和賀消防署長。後輩に対して「みんな一生懸命勉強している。一つの分野に偏らず、何でも経験してほしい」と激励していました。現在は地域の自主防災組織の一員として、積極的に取り組んでいます。

### 褒章



黄綬褒章  
【業務精励】

高橋俊肥考さん  
(常盤台・59歳)

元社会福祉法人平成会(一関市)嘱託職員。車いす生活を送りながら、障がい者の社会参加の促進に傾注。得意のパソコンを障がい者に教えるほか、自立生活支援センターで相談員を務めるなど活躍しています。「これからも障がい者の可能性を引き伸ばしていきたい」と意欲を見せていました。

### 叙勲



瑞宝单光章  
【消防業務】

児玉三千雄さん  
(相去町・73歳)

元北上市消防団分団長。昭和32年から平成13年の長きにわたり、消防業務に携わりました。現場活動のみならず、各家庭の火防点検、一般市民への消火器訓練など防火意識の向上にも尽力。また、団員の教育育成に力を注ぎました。受章は「実感がわからないが、うれしい」と話していました。

春の  
叙勲・褒章

危険物従事者  
叙勲

## 緊急災害情報を携帯電話に配信します

問い合わせ 消防防災課 内線 3712

市では、NTTドコモが提供する緊急速報サービス「エリアメール」を活用し、災害情報をNTTドコモの携帯電話を利用している皆さんへ6月1日から配信します。NTTドコモの携帯電話を所有する人への新たな費用負担や、事前のメールアドレス登録をすることなく受信できます。

### ◆配信範囲

北上市内(市外では受信できません)

### ◆配信情報

主に次の緊急性の高い災害情報を予定しています  
避難準備情報/避難勧告/避難指示/指定河川洪水警報/土砂災害警戒情報

### ◆対応機種

NTTドコモの携帯電話で2007年秋冬モデル以降のみ対応

### ◆受信設定

対応機種の一部では次の設定が必要となります  
「メール設定」→「エリアメール設定」→「受信設定」→「ON(許容する)」

※対応機種や受信設定について不明な点は、携帯電話購入店やドコモショップでご確認ください。

※現在このようなサービスはNTTドコモのみ提供していますが、今後、他の携帯電話会社から同様のサービスが提供された場合には、順次拡大していく予定です。

### エリアメール配信イメージ



# 市の動き

桜樹木保存育  
と協議をし、  
関係団体など  
上さくらの会  
観光協会、北  
これらは北上  
400万円)。  
0万円、バス  
(二般車両56  
の協力金をい  
ただきました  
んから多くの  
展勝地駐車場を利用する皆さ  
超える桜の延命対策として、  
まつり期間中、樹齢90年を  
千人の増となりました。



多くの行楽客でにぎわった北上展勝地

## さくらまつり駐車場 協力金に多くの支援

成事業に活用させていただき  
ます。  
皆さまのご理解と温かいご  
支援に感謝します。

## みんなでつくるまち づくり整備事業決定

市民主体のまちづくりを推  
進することを目的とした「み  
んなでつくるまちづくり整備  
事業」の選考会は11日、本庁  
舎で行われました。

この事業は、市が補助金上  
限500万円を交付し、自  
治組織などの民間団体が、ま  
ちづくりのための施設整備を  
行うものです。本年度は5団  
体から特色あるまちづくり事  
業の応募があり、選考会で公  
開プレゼンテーションが行わ  
れました。



選考会で行われた申し込み団体による公開プレゼンテーション

## 第25回詩歌文学館賞 受賞者・受賞作品

●詩部門 有田 忠郎『光は灰のように』

【profile】

1928年長崎県生まれ。九州大  
学卒。シャルル・ボードレー、  
ヴィクトール・セガレン、サン  
ジョン・ペルスらの翻訳を多く手  
掛ける。著書に詩集『セヴラック  
の夏』、エッセー集『異質のもの』  
、翻訳にセガレン『碑』など



●短歌部門 田井 安曇『千年紀地上』

【profile】

1930年長野県生まれ。岡崎高  
等師範学校(現名古屋大学)卒。「花  
實」「環」を経て、51年近藤芳美の  
「未来」創刊に参加。88年「綱手」創  
刊。著書『田井安曇著作集』全6  
巻、歌集『木や旗や魚らの夜に歌  
った歌』、評論『近藤芳美』など



●俳句部門 星野 麥丘人『小椿居』

【profile】

1925年東京都生まれ。法政大  
学卒。47年石田波郷に、波郷没  
後は石塚友二に師事し、「鶴」編集  
および発行を担当、86年に主宰  
を継承。著書に句集『弟子』『寒  
食』など、評論『近世俳人ノオ  
ト』、編著『石田波郷の世界』など



公募市民や市民活動団体関  
係者ら5人の選考員による審  
査の結果、次の4団体の事業  
が選ばれました。  
○ウオーキングロードおにや  
なぎ整備事業 鬼柳町自治振  
興協議会 ○羽山の里「山野草  
園」木道整備事業 和賀地区自  
治協議会 ○国見山廃寺跡の  
堂跡・散策路整備事業(社)北  
上青年会議所 ○(仮称)黒沢尻  
23区ふれあい広場整備事業  
(黒沢尻23区区民協議会)  
これらの事業は整備完了後、  
まちづくりのために活用され  
ます。

## 学校給食の地産産食 材使用アップ目指し

市では、学校給食の食材に  
地場産品をさらに利用しよう  
と本年度、北上地方生活研究  
グループ連絡協議会から野菜  
などの食材の一部を仕入れる  
ことにしました。同協議会か  
らの入荷は初となります。

本年度は西部学校給食セン  
ターへの入荷とし、11日、6  
人の会員(農家)により新鮮な  
アスパラガス79キが納入さ  
れました。



宮本学校給食センター所長にとれたてのアスパラガスを手渡す菊池紘子会長(右)

んでおり、米は全量北上産の  
ひとめぼれ、野菜も年々増加  
し34%の利用率。今回の取り  
組みで利用率アップを目指し  
ます。また、生産者と児童と  
の試食会も予定しています。